

米、イラク攻撃開始

フセイン政権打倒へ

巡航ミサイル発射

【ワシントン19日共同】米政府は十九日、イラク時間の二十日午前五時半(日本時間同十一時半)すぎ、イラクに対する軍事作戦を開始した。ブッシュ米大統領が正式発表。米英軍はイラクに対し巡航ミサイルを発射するなど空海からの爆撃を始めた。



14日、地中海の米空母ハリ・トルマンで発艦の指示を受ける電子戦機(UPI・共同)

イラクの大量破壊兵器開発疑惑の査察を実施した国連監視検証査察委員会(UNMOVIC)や国際原子力機関(IAEA)の活動にイラクのフセイン政権が協力せず、国連安全保障理事会決議一四四一に違反したとの理由で攻撃に踏み切った。

ブッシュ大統領は十七日、イラクの

フセイン大統領と息子二人が四十八時間以内に亡命しなければ、攻撃するとの最後通告を行ったが、フセイン大統領は十八日、これを拒否していた。

ブッシュ政権は、「大量破壊兵器を開発するフセインは世界の脅威」と明言。フセイン政権の打倒と民主政権の樹立を攻撃の目標に掲げているが、イラク指導部は、アジズ副首相が十九日の記者会見で、「凄惨(せいさん)な長期戦」を予告するなど徹底抗戦の構え。

武力行使に踏み切ったブッシュ政権に対し、欧州やアラブ諸国などから批判が噴出するのは必至だ。